

令和2年度第一回総会

令和2年度船橋市国際交流協会第一回総会が8月17日（月）中央公民館講堂で開催されました。新型コロナウイルス感染防止対策として、事前に出席票をいただいた41名による開催となりました。



嘉規洋会長

初めに嘉規洋会長より、新型コロナウイルスの感染拡大で今年は協会事業の多くを休止せざるを得ない状況となったこと、また、現在の協会の規約には書面決議の条項が無いため総会も延期せざるを得なかったこと、今後に向けて規約の改正を議案に含めたことなどについて説明がありました。また、船橋市には約18,900人の外国人が生活しており、今後も増加が見込まれる中で、協会としてコロナ禍でも出来ることを前向きに検討していきたいとの話がありました。その一つとして、市内で学ぶ外国人留学生への食料支援事業を新たにスタートし、急を要するため総会の承認が事後となったことについて、ご理解をお願いしたいという挨拶がありました。



松戸徹市長

続いて、来賓の松戸徹市長よりご挨拶をいただきました。昨年度西安市から贈られアンデルセン公園に植樹した牡丹の花が、この春には大変美しく開花していたこと。新型コロナウイルスの影響で今夏の来船予定が中止となったオーデンセ市長から『お会いできるようになった際はぜひ今後の交流のことを話し合いたい』というお手紙をいただいたというお話。来年はアメリカ・ハイワード市との姉妹都市35周年記念事業を無事に開催できるよう願っているとお話がありました。また、昨年『子ども未来会議室』の提案を受け、中学校にポテトクを導入したこと。最後に「市民の一人一人が外国人の方に気を配っていただくことが船橋の将来的な国際化に繋がっていくものと考えるので、これからもよろしく願います」とのお話がありました。

その後小田原隆泰副会長を議長に選出し、議案の審議が進められました。

審議時間を短くするため、質疑応答は、事前に受け

付けた質問に対する回答と、それに関する追加質問のみとしました。

令和元年度の事業報告及び決算報告、令和2年度の事業計画案及び収支予算案、規約の改正、令和2・3年度の理事、会長、副会長の承認と、すべての議案が追加質問なく可決承認されました。また、理事会で選出された令和2・3年度の監事の紹介がありました。



総会の様子

続いて、再任された嘉規洋会長より、令和2・3年度の部会長及び事務局長が任命され、今後とも協会の運営に会員皆様のお力添えを頂きたいとの挨拶がありました。

最後に、今後の事業について、インターナショナルフェスティバルや国際理解セミナーなど人が集まるイベントを中止すること、日本語教室は当面12月末まで休止の延長をすること、コロナ禍の社会状況に合わせてオンライン事業を進めていくことなどの方針が説明されました。

なお、総会の議事概要と、事前質問・要望に対する回答は、ホームページに掲載しましたのでご覧ください。
(事務局長 片桐 卓)

令和2・3年度 会長・副会長・部会長

会 長	嘉規 洋
副 会 長 国際化啓発・広報部会長（兼務）	小田原 隆泰
副 会 長	田邊 厚志
副 会 長 事務局長（兼務）	片桐 卓
交流・相互理解部会 部会長	梁瀬 厚子
外国人支援部会 部会長	浦和 かほる

外国人留学生への食料支援

現在、外国人留学生は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アルバイトが減少し、生活が苦しくなっています。このため、船橋市国際交流協会では留学生に食料品支援をすることにしました。船橋西ロータリークラブ、船橋商工会議所、国際ソロプチミスト船橋他多くの企業・団体、個人の方々より寄附金のご協力をいただき7月から市内3校の日本語学校に食料を届けています。

7月は各学校にお米を贈りました。東京JLA外国語学校では、7月29日（水）に贈呈式が行われ、土屋尚美先生は、「生徒は苦しい中、懸命に頑張っています。日本の米は安全でおいしいです」と支援に感謝の気持ちを語ってくれました。留学生のブー・ホンクァン（ベトナム）さんは「日本に留学にきて1年になった。日本の生活が楽しい。あと1年勉強が残っているががんばって、卒業後は日本で就職して、技術を身に着けたい。そしてベトナムと日本のかけ橋になるような仕事をしたい」と夢を話してくれました。

8月は各学校にインスタントラーメンとレトルトカレーを贈りました。インターナショナルスクール船橋とオンリーワン日本語学校では、8月31日（月）に贈呈式が行われました。理事長の辰村定男さんは、「最近増えているベトナム人留学生や、他の留学生にも日本のラーメンは人気です。支援してくれる人がいると励みになります。彼らは2年間の勉強で一区切りになり、卒業後は日本で就職する人や、大学で学ぶ生徒も多いです。今の状況が続くと就職や進学にも影響が出ないか心配しています。温かい支援に感謝します」と語ってくれました。支援は9月以降も続きます。

（広報 渡辺 住男）



東京JLA外国語学校での贈呈式の様子



インターナショナルスクール船橋とオンリーワン日本語学校での贈呈式の様子

海外レポート 中国

コロナ禍の数ヶ月、ふるさとの国ではどんな生活をしてきたのか、船橋に住む外国の方に取材をお願いしました。

【中国から】

中国の北京と上海に住んでいる家族や知人に実際の生活状況を聞いてみました。

買い物……人口の少ない街も都会も、多くの店でシャッターを閉めたままの店舗が目立ちます。コロナの影響が少し落ち着いた現在でも、買い物の仕方はネットが主流になりました。レストランでもテイクアウトが増えてきて以前のような街の賑やかな風景はなくなっているようです。（写真左）

小中学校……中国東北部の牡丹江市に住んでいる11歳のYちゃんの通う学校は今年1月から始まった春節の冬休み中にコロナの影響を受け、休校になりました。

た。5月からの開校も、できなくなり、現在も午前中2～3時間オンラインでの授業を行っています。習い事はすべて中止になりました。ゲームに夢中で、親子げんかが増えているそうです。

サラリーマン……北京市国営石油研究所に勤める34歳のサラリーマンO君によると、5月以降勤務形態は以前の出勤形態に戻ったそうです。O君の会社や他業界でもテレワークが導入されていないそうです。会社に労働の管理・監督などの仕組みが無いことが主な要因のようです。つまり、サボっていてもその監視ができる体制や仕組みが無いからです。

最近、政府もマスクの着用を強制していません。人々も三密に関しても特に意識はしていないようで、以前の生活と変わらなくなっているようです。（写真右）

（協会会員 水口華月）



シャッターを閉めたままの店が目立ちます



今は人々はマスクもしないで街を歩いています

海外レポート 台湾・台北

【台湾・台北から】

2月の初め、集団感染が発生したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が日本に着く前に台湾を経由していたことで、台湾政府がその時台湾の港から降りた観光客の足取りを国民に公表しました（写真左上）。私も同じ日に同じ場所にいたので、自主的に14日間家にいました。

自粛期間内、ちょうどマスクも品切れの状況だったので、長年の裁縫の趣味を生かして、家族と友達のため布マスクとマスクカバーを作り始めました。苦しみの中でも喜びを生み出そうという気持ちです（写真右上）。

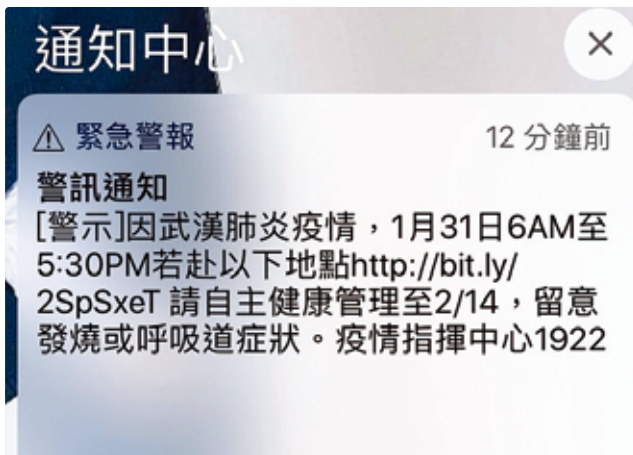
やっと自粛期間が終わって、健康保険証の機能を利用して実名制度で2週間に一度9枚のマスクを買えるようになったため、薬局で88、91番の整理券をもらって並びました（写真下左）。

今まで消毒のアルコールを買うためにこんなに多く

の薬局、コンビニ、スーパーに回るなんて考えたことはありません（写真下右）。外に出かけられない間に、一生懸命家の隅から隅まで消毒を念入りにしました。しかしアルコールの希釈とお風呂場みたいな狭い空間の換気に気をつけなかったことで、心臓がバクバクして中毒症状になってしまいました。かかりつけの総合病院に行ったら、SARS並みの防疫対策をとっていました。SARSの経験もあって、ちゃんと患者さんもその家族もルールに従って検温をして検査表を書きました（写真下中）。また、突然コロナ対策センターから携帯にメールが来て、「あなたはコロナ陽性患者と同じ場所に立ち寄った形跡があるから、自身の健康管理、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、手を洗うことに気をつけてください」と言われたりしました。

世界中の人々が一日も早く元の生活に戻れるよう、薬の開発が進む事を望んでいます。

（台湾在住 Vivi Ou 取材・翻訳：田井ジュリア）



政府から警告のメールが届きました



裁縫が好きなので、マスクをたくさん作りました



マスクの整理番号をもらって、列に並びました



消毒液の中毒になってしまい、病院に行きました



こんなにたくさん消毒液を買いました

お知らせ

オンライン外国語講座

来年こそは東京オリンピック、パラリンピック。日本に来た外国人と話したり、旅行で簡単な外国語が話せるといいですね。コロナ禍が収まるまで、この機会にオンラインで勉強してみませんか。実用的な場面毎の会話を練習します。

オンライン実践ミニ中国語講座（初めて中国語を勉強する方、少しわかる方）

日程：10月15日から12月17日まで

毎週木曜日 午前10：30 - 11：20

オンライン実践ミニ英語講座（実践ミニ英語講座 第二回）

日程：10月18日から12月20日まで

毎週日曜日 午前10：30 - 11：20

*講師の都合で休む場合は、終了日が延期になる場合もあります。



各講座全10回 5名以上で開催します

費用：会員10,000円 非会員12,000円

オンライン条件：Zoomをダウンロードしておいてください。

申し込みの受付をしましたら、ミーティングIDをお知らせします。

申し込み：firaoffice@gmail.com宛

会員・非会員、氏名、住所、メールアドレス、電話番号をお知らせください

受け取り次第、受講確認、受講料の支払い方法のメールをお送りします。

オンライン にほんごひろば

ろうどくげき 朗読劇コース

朗読劇の練習を通じて日本語の発音を向上させてみませんか。

対象：外国人住民の方

日時：11月2日、9日、16日 月曜日 午前10：00 - 11：30

費用：1,000円（全3回で）

オンライン条件：Zoomをダウンロードしておいてください。

申し込み：(firaoffice@gmail.com) に、氏名、住所、国籍、メールアドレス、電話番号をお知らせください。申し込み受付次第確認メールを送ります。

協会アンケートにご協力をお願いします。

協会の活動をよりよくするために、みなさんのご意見を伺いたいと思い、アンケートを作成しました。会員の皆様には協会ニュースにアンケート用紙を同封しますので、ファクス（047-436-2089）、またはPDFで協会事務局（firaoffice@gmail.com）までメールで回答をお願いします。

非会員の皆様にはメルマガ、ホームページでお知らせしますので、ご協力よろしく申し上げます。できるだけ多くの方のご回答をお待ちしています。

メールマガジンに登録しませんか。

協会では、ニュースでのお知らせ以外にいろいろなイベントを開催します。ホームページを定期的にチェックしない方も、メールマガジンなら直接タイミングよくご案内が届きます。

登録方法

ホームページのトップページにある「メールマガジン登録をおねがいします」の記事から登録



こちらからでも登録できます。

